

「チャイコフスキーの
魅力」



©Michiko Yamamoto

第13回

はじめての

クラシック

中学生・高校生のために

2019年

サントリーホール 大ホール

2019年7月22日(月)23日(火)

開場 13:15 / 開演 14:00

指揮：小林 研一郎

チェロ：北村 陽 (15歳)

管弦楽：東京交響楽団

案内役：三枝 成彰

プログラム

P.I. チャイコフスキー：

オペラ「エフゲニー・オネーギン」ポロネーズ

組曲「くるみ割り人形」作品71aより

「行進曲」、「金平糖の精の踊り」、「トレパーク」、
「アラビアの踊り」、「中国の踊り」、「葦笛の踊り」、「花のワルツ」

バレエ音楽「白鳥の湖」作品20より

「情景」、「ワルツ」、「4羽の白鳥の踊り」、「終曲」

ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品33

(チェロ：北村 陽)

祝典序曲「1812年」作品49

※曲目、出演者は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。未就学児はご入場いただけません。

全席指定 1,000円

一般発売日：6月10日(月)

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 146-539) (自動音声対応) <http://pia.jp/t/>

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

(10:00 ~ 18:00 ※休館日を除く)

学生お申込み・お問合せ：株式会社メイ・コーポレーション 03-3584-1951 (平日 10:00 ~ 18:00)

後援：文化庁、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会

一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会、全日本音楽教育研究会

主催：はじめてのクラシック実行委員会 制作：株式会社メイ・コーポレーション

企画アドバイザー：CFA 有限責任事業組合

協賛

三菱商事

大和証券グループ

ANA

住友化学

協力

ABS朝日

tv asahi

バレエ音楽「くるみ割り人形」や「白鳥の湖」など、名曲が揃うチャイコフスキーの音楽。彼の音楽はなぜ日本人に愛されるのか。今回は、チャイコフスキーの魅力を解き明かします。



案内役 / 三枝 成彰 Shigeaki Saegusa

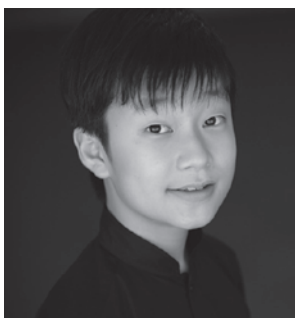
音楽に親しんでこなかった人が、これから聴きはじめようとするとき、聴きやすいやさしい曲から入るべきか、あるいはいきなり“本物”から入るべきか？それはとてもむずかしい選択です。しかし、私はやはり、初めての人にこそ、わかりやすいものよりは“本物”を最初から聴いていただきたいと思っています。本物は必ず、聴く人に何かしらの感動をもたらしてくれます。その感動を、味わっていただきたいのです。
「クラシックは初めて」という人に、まずそういう体験をしていただこうと、2007年から行っているのがこの「はじめてのクラシック」です。クラシック音楽ってどういう音楽なのか？クラシック音楽はどういうふうに行っているのか？それをお話したいと思っています。

指揮 / 小林 研一郎 Ken-ichiro Kobayashi

東京藝術大学作曲科および指揮科卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。ハンガリー国立交響楽団音楽総監督、日本フィル音楽監督をはじめ、国内外のオーケストラのポジションなどを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、2010年にはハンガリー文化大使の称号が授与されている。2011年文化庁長官表彰を受け、2013年秋の叙勲では旭日中綬章が授与された。2005年からは社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」で活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生などのボランティアメンバーと共に全国でチャリティ公演も行っている。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルおよび名古屋フィルの桂冠指揮者、読売日響の特別客演指揮者、群馬交響楽団ミュージック・アドバイザー、九州交響楽団の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、長野県芸術監督団音楽監督、東京藝術大学、東京音楽大学およびリスト音楽院名誉教授などを務める。



©Michiko Yamamoto



チェロ / 北村 陽 (15歳) Yo Kitamura

2004年兵庫県西宮市生まれ。2017年、第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールで優勝し、注目を浴びる。
9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを行う。以来、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、小林研一郎指揮東京フィルハーモニー交響楽団、大友直人指揮群馬交響楽団と共演した。2018年、ロシアで開催されたチャイコフスキー国際青少年フェスティバルに招待される。テレビ朝日「題名のない音楽会～神童たちの音楽会2017」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」などに出演。
山崎伸子、太田真実、故ギア・ケオシヴィリ各氏に師事。ヤマハ音楽支援制度奨学生。使用楽器は、上野製菓株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。

管弦楽 / 東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演も多く、これまでに58都市で78公演を行ってきた。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016年に創立70周年を記念しウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行う。また2018年8月には日中平和友好条約締結40周年を記念し上海・杭州にて公演を行い、日中の文化交流の役割を果たした。
公式サイト：<http://tokyosymphony.jp/>



©N.Ikegami

サントリーホール

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1

地下鉄 東京メトロ南北線 六本木一丁目駅 徒歩5分（3番出口）
東京メトロ銀座線 溜池山王駅 徒歩7分（13番出口）

バス 都営01系統バス(渋谷～新橋グリーンシャトル)
赤坂アークヒルズ前下車

